



「F5のソリューションによって、ITの総所有コストが大きく削減されました」

ブライアン・レーン(Brian Lane)
グローバル・ポータル・センター・マネージャ
British American Tobacco

British American Tobacco、 WebAccelerator搭載のBIG-IPで、 SAPアプリケーション向けの安定した ネットワークを構築

業種

製造業

課題

- グローバルなSAPアプリケーション・ポータルを支えるネットワークの安定性を確保
- SAPベースの2つの人事アプリケーションのユーザに、高い可用性とパフォーマンスを提供
- ITの総所有コストを削減

ソリューション

- WebAccelerator™モジュール搭載のBIG-IP® Local Traffic Manager™ 6800

導入効果

- グローバルなSAPアプリケーションに対応した、信頼性の高い安定したネットワークを実現
- 世界中の12,000ユーザに対応する高パフォーマンスを継続して実現
- ネットワーク・トラフィックの圧縮により、データセンターコストを削減

概要

British American Tobacco 社

(www.bat.com) は、たばこ産業世界第2位の企業グループであり、180を超える市場で、300におよぶ種々の銘柄のたばこを販売しています。同社は創立100年以上の古い企業ですが、最先端のITを取り入れた企業でもあります。

SAP ソリューションの利用が行き届いた British American Tobacco 社 (以下、BAT 社) は、定期的に新しいSAPベースのアプリケーションを開発し、導入しています。そのアプリケーションの配布やメンテナンスのコストを削減するため、同社では、グローバルなSAPアプリケーション・ポータルを作成することにしました。ただし、新しいポータルで、2つのSAP人事(以下、HR)アプリケーションの運用を開始する前に、ネットワーク・インフラストラクチャがユーザの望む高いパフォーマンスを提供できるかを確認することが不可欠でした。

BAT 社では、ネットワーク・セキュリティ・パートナーである ITC 社 (www.itc-network.com) の支援を受け、F5 ネットワークス (以下、F5) が提供する WebAccelerator モジュール搭載の BIG-IP Local Traffic Manager (以下、BIG-IP LTM) を導入しました。この製品は、グローバルなSAPポータルを支える安定したネットワークを確保するだけでなく、同社のグローバル・データセンターのITコストを低減することにも寄与しています。

課題

BAT 社は多くの大企業に共通するジレンマに陥っていました。グローバルな業務の効率化を図るために、SAPシステムの開発やSAPベースの新しいアプリケーションの導入に注力するとしても、その一方で、ITの総所有コストには厳しい抑制がかけられているというジレンマです。

この課題に対応するため、BATではグローバルなSAPアプリケーション・ポータルを具体化する戦略的な決定をしました。この戦略をとることで、アプリケーションごとのポータルを世界各地に作る必要がなくな

り、新しいSAPベースのアプリケーションに対して、フロントエンドを1つ作成するだけで済むことになりました。同社では、グローバルポータルの作成によって、ITインフラストラクチャとメンテナンスコストを大幅に削減できると予測しました。

2つの新しいSAPベースのHRアプリケーションの導入をサポートするため、BAT社はグローバルポータルの活用を決定しました。最初のHRアプリケーションは、SAP社のNetWeaver開発ツールを使用して、BATの社内で開発されました。TalenTというこのソリューションでは、事前に合意した目標に対する社員の実績を記録することができます。もう一方の新しいHRアプリケーションは、Enableというセルフサービス・ツールであり、SAPの標準機能を使用したものです。BAT社では、12,000人を超える社員がこれら2つのアプリケーションを利用することが分かっていたため、常に高いパフォーマンスを提供するポータルの導入が不可欠でした。

BAT社ではこれまでの経験から、Webアクセラレーション製品が、新しいグローバルポータル・インフラストラクチャを支えるネットワークの重要なコンポーネントであることを理解していました。数年前SAP Supplier Relationship Management (SRM) ソリューションを世界中に展開した際、Webベースのフロントエンドで安定性に関わる問題が次々に発生するという経験をしました。ところが、そのネットワークにWebアクセラレータを導入しただけで、これらの問題が改善されたのです。

BAT社のグローバルポータルセンターマネージャであるブライアン・レーン氏は、次のように語っています。「同じ過ちは繰り返したくありませんでした。過去の経験に照らして、Webアクセラレーション・デバイスの導入が必要であることにすぐに気づきました。世界各地でネットワークの速度が異なっていたため、特にそう言えました」





ソリューション

その当時、BAT 社の IT セキュリティチームの技術者は、F5 のソリューションにおけるアプリケーション・セキュリティ機能について、すでにテストを実施していたところでした。そこで、IT 部門では、広域ネットワーク (WAN) セキュリティと Web アクセラレーションの両方に関して、BAT 社が求める幅広い要件を、F5 の製品が満たすことができるか評価することにしました。

ITC 社 (BAT 社の現 IT パートナー) は、SAP 環境における Web アクセラレーション・デバイスの導入と管理に豊富な実績を持つパートナーでした。そこで BAT 社は、WebAccelerator モジュール搭載の BIG-IP LTM 6800 の競合評価を ITC 社に依頼し、SAP SRM アプリケーションで 1 週間、既存の Web アクセラレーション・デバイスに加えて BIG-IP LTM 6800 を評価しました。この比較分析の結果、BIG-IP LTM では、アプリケーションのダウンロード時間が大幅に短縮され、応答時間が 45% 向上することが明らかになりました。

この評価試験は、BAT 社を納得させるのに十分な結果となりました。レーン氏は「評価期間中、F5 製品は BAT 社の既存製品に比べ、同等かそれ以上のパフォーマンスを発揮しました。また、既存ソリューションのサポートについて懸念がありましたが、F5 と ITC 双方から F5 製品に対して強力なサポートを得られることが分かりました」と語っています。

ITC 社のシニア・セキュリティ・コンサルタントであるブレット・ミルボロー (Brett Milborrow) 氏は「弊社の F5 製品に関する知識と競合評価の結果から判断し、自信を持って BAT 社へ BIG-IP LTM を推奨しました。パフォーマンスが改善されることに加えて、Web アプリケーションと WAN セキュリティ双方の要件を 1 つの統合ソリューションで満たすことができる製品を選択することで、BAT 社は長期的なメリットが得られると考えたからです」と語っています。

F5 では、Application Ready Network という包括的なアプローチで、SAP、Microsoft、Oracle など、エンタープライズ・アプリケーション向けに事前設定したソリューションを提供しています。このため、BAT 社の SAP 環境に事前に最適化した製品を ITC に提供できたのです。レーン氏によると「F5 のソリューションは、導入後すぐに SAP ポータルと連携して動作しました。これに対し、以前のアクセラレータは SAP に最適化された製品ではないため、

SAP と連動して動作するには設定に何週間もかかりました」

ITC では、BAT 社の厳密な要件を満たすため、4 台の WebAccelerator モジュール搭載 BIG-IP LTM を標準基準に基づいて設定しました。その後、フランクフルトとシンガポールにある BAT 社のデータセンターに、それぞれ 2 台ずつ BIG-IP LTM を送りました。各サイトには、複数サーバ間のトラフィック分散を図り、グローバルポータルの高可用性を確保するため、WebAccelerator モジュール搭載の BIG-IP LTM が 2 台一組で導入されています。このソリューションは、同社の SAP Internet Transaction Server のトラフィック分散にも使用されています。

レーン氏はこう続けます。「私の見たところ、このソリューションの導入は完全にシームレスに行われました。データセンターのエンジニアは製品の梱包を解き、コンセントにつないだだけです。ITC では、F5 デバイスを経由していくつかの設定をリモートで行なっただけで、すぐに製品を稼働できました」

導入効果

F5 のソリューションは非常に高いパフォーマンスが得られるため、BAT 社では新しいグローバルポータルと SAP HR アプリケーションに必要な高い可用性を確保できました。レーン氏はこう語ります。「F5 を選択して本当に良かったと思います。BAT 社では、F5 のソリューションが原因のネットワークの停止はまったくありませんでした。BIG-IP LTM は本当に安全かつ使いやすい製品です」

フランクフルトとシンガポールにある同社のデータセンターでは、BIG-IP LTM が世界中から受信するさまざまなセッションをすべて処理し、そのセッションを SAP の Web アプリケーション・サーバに戻します。「F5 のソリューションはこれらの処理を完璧にこなし、グローバルポータルと SAP Web アプリケーションを支えるネットワークを安定させることができるのです」とレーン氏は述べています。

アプリケーションの安定性と高いパフォーマンスに加えて、運用コストが削減されるという効果も得られます。いくつかのデータセンターでは、BAT 社はネットワーク・トラフィック量に基づいた料金を支払います。このため、キャッシングと圧縮の処理を行う BIG-IP LTM の機能は非常に有効です。

レーン氏は次のように予測しています。「あるデータセンターでは 1 週間当たり 10GB の

ネットワーク・トラフィックが発生しますが、F5 のソリューションではこれを 1GB または 2GB に削減できます。このため、10GB のトラフィックにはではなく、2GB のトラフィックに対して支払いをするだけで済みます。さらに、サーバを削減して投資していく必要があるなかで、BIG-IP LTM によってハードウェアとオペレーティング・システムのコストが削減できます」

レーン氏はさらに「F5 のソリューションによって、IT の総所有コストは大幅に削減されました。F5 の製品は極めて短期間で ROI を高められるものと確信しています」と語っています。

F5 製品の採用によって、定期ネットワーク・メンテナンスの実施も容易になりました。レーン氏は「ユーザは 1 つの F5 デバイスに接続されているため、サーバの再起動が必要なときに、簡単に 1 台ずつ停止できます。F5 の製品が他のいずれかのサーバに瞬時にルートを再設定するため、ユーザがサーバの停止に気づくことはなく、事業継続性を実現します。この機能を利用するだけでも、システムのダウン時間はかなり削減されます」と説明しています。

F5 製品の導入後も、ITC 社は BAT 社を継続して支援し、グローバルポータルの要件を完全に満たすよう、導入した製品を微調整しました。レーン氏は「F5 のデバイスは非常に柔軟であるため、設定が簡単に行えます。ITC 社はこのプロジェクトの重要な役割を担ってきました。同社が BAT 社との連携を積極的に進めたこと、そして F5 の製品に関して優れた知識を持っていたことで、期日に間に合わせる事ができたのです」と語っています。

フランクフルトとシンガポールでの F5 ソリューション導入の成功に続き、ブラジルにある残り 3 つのグローバル・データセンターに BIG-IP LTM を設置する計画があります。また、アクセラレーション・デバイスの現在のメンテナンス契約が失効した際には、SAP SRM アプリケーションにも WebAccelerator モジュール搭載の BIG-IP LTM を利用する予定です。

同社が考える BIG-IP LTM の主なメリットの 1 つは、このソリューションが統合されているという点です。レーン氏はこう結論しています。「F5 が、Web アクセラレーション、負荷分散、キャッシング、圧縮、セキュリティの各機能を 1 つのソリューションで、しかも 1 つの GUI で提供していることは、管理の効率化に多大に貢献しています」



F5 ネットワークスジャパン株式会社

東京本社
〒107-0052 東京都港区赤坂 4-15-1 赤坂ガーデンシティ 19 階
TEL 03-5114-3210 FAX 03-5114-3201

西日本支社
〒530-0001 大阪市北区梅田 2-2-2 ヒルトンプラザウエスト オフィスタワー 19 階
TEL 06-6225-1250 FAX 06-6225-1111

お問い合わせは F5 First Contact まで : www.f5networks.co.jp/fc/